

(令和3年11月15日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

(米国、消費者物価指数)

・21年10月の米国消費者物価指数は、前年同月比6.2%の上昇となりました。価格変動の大きい食品とエネルギーを除く消費者物価指数（コアCPI）も対前年比4.6%上昇。
今年6月以降は、伸び率が少し高い状態で落ち着きを見せていましたが、再度の上昇です。エネルギー価格上昇の影響が大きいですが、大きく分けて、食品品、エネルギーサービスを含むエネルギー、食品、エネルギーを除く商品・サービスなどの統計が米国労働省から発表されていますので、詳細項目をチェックしてみれば、上昇要因が詳細にわかると思います。

(米国消費者物価指数)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

米国の消費者物価指数は、上記グラフを見てわかる通りコントロールが良く、2%を中心にして上下2%程度で収まっているのが特徴。今回は、どうか…。なお、10月の6.2%上昇は1990年11月以来、上記グラフは10月になっていますが、11月も10月同様6.3%。遡るという意味では11月になりますが…。この時は8月から12月の4カ月が6%台。それ以前は？1982年の7月まで遡ります。日本も適度な物価上昇が欲しいところです。

(了)